

報道関係者各位

平成 22 年 5 月 18 日

会社名 株式会社 ノザワ

代表者名 取締役社長 野澤 俊也

問合せ先 技術本部 開発部

TEL03 - 5540 - 6511

～外壁目地防水機構のコストを大幅削減～

特殊水膨張性ウレタンフォーム採用 2 次防水工法

「セフティシール工法 タイプM」を 6 月より発売

株式会社ノザワ（本社：神戸市中央区浪花町 15 番地）は、押出成形セメント板「アスロック」の外壁高性能 2 次防水工法「セフティシール工法」に新しくコストの大幅削減を実現した中低層建築向けの「タイプM（横張専用）」をラインアップ致しました。

近年、建物の外壁においてパネル間の目地からの漏水が問題となっており、目地部分の防水性能が重要となっています。そこで目地部の止水性向上の為に、表面側の止水シール材が劣化した時に機能する 2 次防水工法の要求は高く、当社においても低層から高層建築まで対応できる高性能 2 次防水工法「セフティシール工法」を販売し、設計者様に多く採用されております。

この度、発売します「セフティシール工法 タイプM（横張専用）」は設計者様の多様化する御要望にお答えするため、特に御要望の高い中低層建築に最適な止水性能商品をローコストで御提供するものです。止水機構の組み合わせでローコスト化すると共に、工事のしやすさによる効果で施工コストを削減し、従来の当社「セフティシール工法」と比較しトータルコストの大幅削減を実現した商品です。

止水機能の特長として目地内部には水を吸収し膨張することにより高い止水性を発揮する特殊水膨張ウレタンフォームを押出成形セメント板のシール材として初めて採用しました。

この工法とシール材の特長を組み合わせると特許申請済みです。

尚、止水性能については中低層建築物（10 階建てまで）の建築物外壁において十分な性能を有していることを公的試験機関（財団法人 建材試験センター）において確認をしております。

当社は、1970 年より押出成形セメント板「アスロック」を製造・販売し、外壁・間仕切壁として低層建築から高層建築までビル建築を中心に公共施設、集合住宅、工場などに採用実績を伸ばし、押出成形セメント板業界のトップシェアを堅持しています。

この「セフティシール工法 タイプM(横張専用)」をラインアップすることにより低層建築から高層建築まで、より安心してコストパフォーマンスの高い外壁目地機構を御提供出来るようになり、アスロックをより御採用いただき易くなると確信しています。

<性 能>

止水性能値：平均圧力 1250Pa（脈動下限圧力 650Pa、脈動上限圧力 1850Pa）

<対 象>

中低層オフィスビル、商業建築、公共施設、学校、病院、集合住宅、工場など

<発 売>

平成 22 年 6 月より発売を開始致します。

<販売計画>

平成 22 年度： 30,000 m²

平成 23 年度： 65,000 m²

平成 24 年度：100,000 m²

<会社概要>

| 株式会社ノザワ（大証 2 部上場） | |
|-------------------|------------------------------------|
| 本社 | 兵庫県神戸市中央区浪花町 15 番地 |
| 資本金 | 24 億 4900 万円 |
| 代表者名 | 取締役社長 野澤 俊也 |
| 事業概要 | 押出成形セメント板「アスロック」他 不燃建材の製造・加工・販売 |

◎お問い合わせ先

株式会社ノザワ 技術本部 開発部

〒104 - 0033 東京都中央区新川 1-24-8（東熱新川ビル 8F）

担当 細田 吉大 TEL03 - 5540 - 6511

Email: hosoda.ys@nozawa-kobe.co.jp